

☆〈詩〉かえるのびよん

名前

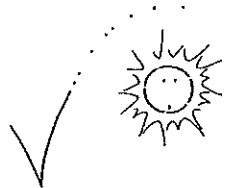
かえるのびよん

谷川 俊太郎  
たがわ しゅんたろう

① かえるのびよん  
とぶのがだいすき  
はじめにかあさんとびこえて  
それからとうさんとびこえる  
びよん



② かえるのびよん  
とぶのがだいすき  
つぎにはじどうしゃとびこえて  
しんかんせんもとびこえる  
びよん びよん



③ かえるのびよん  
とぶのがだいすき  
とんでるひこうきとびこえて  
ついでにおひさまとびこえる  
びよん びよん びよん



④ かえるのびよん  
とぶのがだいすき  
とうとうきょうをとびこえて  
あしたのほうへきえちやった  
びよん びよん びよん びよん

上の詩を読んで答えましょう。

一. ①～④で、同じ部分があります。その部分を書きましよう。(10)

二. ①～④で、同じことばがだんだんふえています。そのことばを書きましよう。(10)

三. かえるのびよんは、何をするのがだいすきですか。(10)

四. ①～④で、とびこえるものがだんだん大きくなっていきます。とびこえるものを二つずつ書きましよう。(6×8)

|   |     |     |
|---|-----|-----|
| ① | ( ) | ( ) |
| ② | ( ) | ( ) |
| ③ | ( ) | ( ) |
| ④ | ( ) | ( ) |

五. かえるがびよんととぶ様子をそうぞうして、ほかにとびこえてほしいものを考えて書きましよう。(10)

六. この詩を読んで、思ったことを書きましよう。(12)

# すいせんのラッパ ①

名前

春のまん中のお話です。

池のそばのすいせんが、金色のラッパをプル・プル・プーとふいて、よい音が出るかどうかためしていました。

そこへ、ありたちが、とつと走ってきました。

㊤「おはよう。すいせん。」

㊦「おはよう。あり。ずいぶん早いね。」

㊧「だって、まちきれないもの。」

㊨「ね、早く、ラッパをふいて。」

㊩「そっちに上がっていい？」

ありたちは、わいわいはしゃいで、すいせんの葉っぱに上ってきました。

そうです。今日は、すいせんが、今年はじめてラッパをふく日なのです。

なぜラッパをふくかというとね、冬の間ねむっていたかえるたちに、春ですよ起きなさいと知らせてあげるためです。

すいせんは、お日さまの高さをはかったり、風の速さをしらべたり、ラッパをプーとふいたりして、ときどき、もうすぐだというように、うんうん、うなずきます。

ありたちは、葉っぱの上で、ゆらゆらゆれて、じっとまっています。



上の文章を読んで答えましょう。

一. すいせんはどこで、何をしていましたか。(5×2)

て

②

二. ㊤㊦は、ありとすいせん、どちらのこ  
とばでしょう。(4×5)

㊤

㊦

㊧

㊨

㊩

三. ありたちは何をまっているのでしょうか。(10)

四. すいせんは、なぜラッパをふくのですか。(10)

五. すいせんは、今年はじめてのラッパをふくために、どんなことをしていますか。  
四つ書きましょう。(10×4)

六. ありたちは、どんなようすでまっていますか。(10)



# イルカのねむり方

①

名前 138

Ⅱ イルカは、魚と同じように水の中でく  
らしています。ただ、魚とちがって、と  
きどき水面上がっていきをしめます。ね  
むっているときでも、いきはしなければ  
なりません。イルカは、いつ、どんなね  
むり方をしているのでしょうか。

② 動物のことを調べている関口<sup>せきぐち</sup>さんは、  
その<sup>⑦</sup>ことを知りたいと思いました。そこ  
で、水族館に行って、一日じゅうイルカ  
をかんさつすることにしました。<sup>⑧</sup>  
いくら見ても、イルカたちはいつも  
およいでいて、ほとんどじっとしている  
ことはありませんでした。これでは、い  
つねむっているのか分かりません。

③ 関口さんは、およぐはやさと、水面上  
がっていきつきをする回数を調べてみ  
ることにしました。<sup>⑨</sup>夜中には、お  
よぐはやさがゆっくりとなり、いきつき  
の回数も少なくなることが分かりました。  
このことから、関口さんは、イルカはこ  
の時間にねむっているのではないかと考  
えました。



上の文章を読んで答えましょう。

一. Ⅱを読んで答えましょう。  
① イルカが魚とちがうところは、どんな  
ところですか。 (10×2)

② イルカについて、どんなことを知りた  
いと書いてありますか。

二. ②を読んで答えましょう。 (10×3)

① その<sup>⑦</sup>こととは、どんなことですか。

② 関口さんは、どうやってその<sup>⑦</sup>ことを調  
べましたか。

③ 水族館でイルカをかんさつして分かっ  
たことは、どんなことですか。

三. ③を読んで答えましょう。 (10×3)

① 関口さんは、はじめに何を調べてみる  
ことにしましたか。

② 調べてみて分かったことを書きましょう。

③ ②のことから、関さんはどのように考  
えましたか。

四. <sup>⑧</sup>に入ることをば <sup>⑨</sup>からえ  
らんで書きましょう。 (10×2)

すると・そのため・しかし



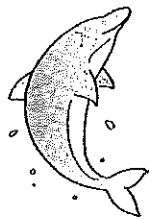
## イルカのねむり方 ②

名前

④ さらに、およいでいるときの動きを、昼間と夜中でくらべました。昼間は、いろいろな方向に向かって、はやくおよいでいました。それに対して、夜中は、プールのふかい所でむれを作り、ゆっくりと円をかくようにおよぎつづけていました。よく見ると、このときは、かた目とじたままおよいでいました。そして、ときどき、とじる目を交代させていました。イルカは、ゆっくりおよぎながらねむっているにちがいありません。

⑤ 本当にねむっているかどうかは、脳が休んでいるかどうかを調べないと分かりません。関口さんは、これまでに行われた、ほかの研究を調べてみました。□、イルカは、脳を休ませているときは、目をしてていることが分かりました。かた目をしていているときは、脳を半分休ませていることになりました。イルカは、脳の右半分と左半分をべつべつに休ませることができるとです。

⑥ イルカは、夜中に、脳を半分ずつ交代で休ませて、ゆっくりとおよぎながらねむっているのです。



上の文章を読んで答えましょう。

一、④を読んで答えましょう。

① イルカの昼間と夜中のおよぎ方のちがいを書きましょう。(10×2)

昼間

夜

② イルカはゆっくりおよぎながらねむっていると考えたのは、どうしてですか。(10)

二、⑤を読んで答えましょう。

① 本当にねむっているかどうかは、何を調べないと分かりませんか。(10)

② ほかの研究を調べると、イルカのどんなことが分かりましたか。三つ書きましょう。(10×3)

③ □にはどんなことが入りますか。からえらんで○をつけましょう。(10)

けれども・すると・だから

三、イルカのねむり方について、分かったこととはどんなことですか。(10)

四、イルカのねむり方について、あなたが思ったことや考えたことを書きましょう。(10)

# ☆〔詩〕 かえるのびよん

名前 26

かえるのびよん

谷川 俊太郎  
たにかわ しゅんたろう

① かえるのびよん  
とぶのがだいすき  
はじめにかあさんとびこえて  
それからとうさんとびこえる  
びよん



② かえるのびよん  
とぶのがだいすき  
つぎにはじどうしゃとびこえて  
しんかんせんもとびこえる  
びよん びよん



③ かえるのびよん  
とぶのがだいすき  
とんでるひこうきとびこえて  
ついでにおひさまとびこえる  
びよん びよん びよん



④ かえるのびよん  
とぶのがだいすき  
とうとうきようをとびこえて  
あしたのほうへきえちやった  
びよん びよん びよん びよん

上の詩を読んで答えましょう。

一、①～④で、同じ部分があります。その部分を書きましよう。(10)

かえるのびよん  
とぶのがだいすき

二、①～④で、同じことばがだんだんふえています。そのことばを書きましよう。(10)

ひよん

三、かえるのびよんは、何をするのがだいすきですか。(10)

とぶこと

四、①～④で、とびこえるものがだんだんと大きくなつていきます。とびこえるものを二つずつ書きましよう。(6×8)

① (かあさん) (とうさん)

② (いどうしゃ) (しんかんせん)

③ (ひこうき) (おひさま)

④ (きよう) (あした)

五、かえるがびよんととぶ様子をそうぞうして、ほかにとびこえてほしいものを考えて書きましよう。(10)

六、この詩を読んで、思ったことを書きましよう。(12)

# すいせんのラッパ ①

名前

春のまん中のお話です。

池のそばのすいせんが、金色のラッパをプル・プル・プーとふいて、よい音が出るかどうかためていました。

そこへ、ありたちが、とつと走ってきました。

あ「おはよう。すいせん。」

い「おはよう。あり。ずいぶん早いね。」

う「だって、まちきれないもの。」

え「ね、早く、ラッパをふいて。」

お「そっちに上がっていい？」

ありたちは、わいわいはしゃいで、すいせんの葉っぱに上ってきました。

そうです。今日は、すいせんが、今年はじめてラッパをふく日なのです。

なぜラッパをふくかというね、冬の間ねむっていたかえるたちに、春ですよ起きなさいと知らせてあげるためです。

すいせんは、お日さまの高さをはかったり、風の速さをしらべたり、ラッパをプーとふいたりして、ときどき、もうすぐだというように、うんうん、うなずきます。

ありたちは、葉っぱの上で、ゆらゆらゆれて、じっとまっています。



上の文章を読んで答えましょう。

一、すいせんはどこで、何をしていましたか。(5×2)

池のそばで

② 金色のラッパをふいてよい音が出るかどうかためていた。

二、あ・おは、ありとすいせん、どちらのこ  
とばでしょう。(4×5)

あ (あり)

い (すいせん)

う (あり)

え (あり)

お (あり)

三、ありたちは何をまっているのでしょうか。(10)

すいせんが今年はいじめてラッパをふくこと。

四、すいせんは、なぜラッパをふくのですか。(10)

冬の間ねむっていたかえるたちに春ですよ起きなさいと知らせてあげるため。

五、すいせんは、今年はじめてのラッパをふくために、どんなことをしていますか。(10×4)

お日さまの高さをはかる。

風の速さをしらべる。

ラッパをプーとふく。

ときどき、もうすぐだというようにうんうん、うなずく。

六、ありたちは、どんなようすでまっていますか。(10)

葉っぱの上で、ゆらゆらゆれてじっとまっています。



## イルカのねむり方 ②

名前 139

④ さらに、およいでいるときの動きを、昼間と夜中であらべました。昼間は、いろいろな方向に向かって、はやくおよいでいました。それに対して、夜中は、プールのふかい所でむれを作り、ゆっくりと円をかくようにおよぎつづけていました。よく見ると、このときは、かた目とじたままおよいでいました。そして、ときどき、とじる目を交代させていました。イルカは、ゆっくりおよぎながらねむっているにちがいません。

⑤ 本当にねむっているかどうかは、脳が休んでいるかどうかを調べないと分かりません。関口さんは、これまでに行われたほかの研究を調べてみました。□、イルカは、脳を休ませているときは、目をしてしていることが分かりました。かた目をしてしているときは、脳を半分休ませていることになりす。イルカは、脳の右半分と左半分をべつべつに休ませることがでるのです。

⑥ イルカは、夜中に、脳を半分ずつ交代で休ませて、ゆっくりとおよぎながらねむっているのです。



上の文章を読んで答えましょう。

一、④を読んで答えましょう。

① イルカの昼間と夜中のおよぎ方のちがいを書きましょう。(10×2)

昼間

夜

② イルカはゆっくりおよぎながらねむっていると考えたのは、どうしてですか。(10)

二、⑤を読んで答えましょう。

① 本当にねむっているかどうかは、何を調べないと分かりませんか。(10)

のうが休んでいるかどうか

② ほかの研究を調べると、イルカのどんなことが分かりましたか。三つ書きましょう。(10×3)

かた目をしてしているときは、脳を半分休ませていること。

脳の右半分と左半分をべつべつに休ませることがでる。

③ □にはどんなことが入りますか。

からえらんで○をつけましょう。(10)

けれども・すると・だから

三、イルカのねむり方について、分かったことはどんなことですか。(10)

イルカは、夜中に、脳を半分ずつ交代で休ませて、ゆっくりとおよぎながらねむっていること。

四、イルカのねむり方について、あなたが思ったことや考えたことを書きましょう。(10)



# イルカのねむり方

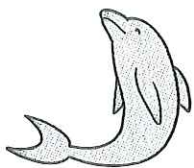
①

名前 138

① イルカは、魚と同じように水の中く  
らしています。ただ、魚とちがって、と  
きどき水面上がっていきをしします。ね  
むっているときでも、いきはしなければ  
なりません。イルカは、いつ、どんなね  
むり方をしているのでしょうか。

② 動物のことを調べている関口<sup>せきぐち</sup>さんは、  
⑦ そのことを知りたいと思いました。そこ  
で、水族館に行って、一日じゅうイルカ  
をかんさつすることにしました。⑧  
いくら見ていても、イルカたちはいつも  
およいでいて、ほとんどじっとしている  
ことはありませんでした。これでは、い  
つねむっているのか分かりません。

③ 関口さんは、およぐはやさと、水面に  
上がっていきつきをする回数を調べてみ  
ることにしました。⑨、夜中には、お  
よぐはやさがゆっくりとなり、いきつき  
の回数も少なくなることが分かりました。  
このことから、関口さんは、イルカはこ  
の時間にねむっているのではないかと考  
えました。



上の文章を読んで答えましょう。

一、①を読んで答えましょう。

① イルカが魚とちがうところは、どんな  
ところですか。 (10×2)

ときどき水面上がっていきをするところ。

② イルカについて、どんなことを知りた  
いと考えてありますか。

いつ、どんなねむり方をしているのか。

二、②を読んで答えましょう。

① そのこととは、どんなことですか。 (10×3)

イルカはいつ、どんなねむり方を  
しているのかということ。

② 関口さんは、どうやってそのことを調  
べましたか。

水族館に行って、一日中イルカの  
かんさつをした。

③ 水族館でイルカをかんさつして分かっ  
たことは、どんなことですか。

イルカたちはいつもおよいでいて、  
ほとんどじっとしていることはない

三、③を読んで答えましょう。 (10×3)

① 関口さんは、はじめに何を調べてみる  
ことにしましたか。

およぐはやさと、水面上がって  
いきつきをする回数。

② 調べてみて分かったことを書きましょう。

夜中には、およぐはやさがゆっくり  
となり、いきつきの回数も少なくなること。

③ ②のことから、関口さんはどのように考  
えましたか。

イルカは夜中にねむっているの  
ではないか。

四、⑧、⑨に入ることをばをからえ  
らんで書きましょう。 (10×2)

⑧ (しかし) ⑨ (すると)

すると・そのため・しかし

# 四 五月のかん字のまとめ

出題範囲・よく聞いで、じこじようかい・せん体と中心

10~59

なまえ

組 番

知・技かん字

## 知識・技能 かん字

● かん字を書きましよう。――の言葉は、かん字とおくくりがなで書ましよう。

どきん 田12・13

① し  
を 読む。

② どう  
校 する

③ ゆう  
な 時間。

④ こおり  
が とける。

⑤ しゅう  
の 時間。

⑥ ごと  
よい 出来

⑦ あた たい スープ。

⑧ びよう  
一 分 一

⑨ ぜん  
体 を 見る。

⑩ しょう  
店 が い

⑪ かん  
図 書

⑫ ぎけ  
あ ま を の む。

⑬ のう  
家 の し ごと。

⑭ み じ か い き よ り。

⑮ どう  
自 ドア

⑯ ごう  
電 話 番

⑰ しょう  
文 を 書 く。

⑱ きゅう  
野 チーム

⑲ かい  
世 を め ぐる。

⑳ ぶつ  
な ぞ の 生

㉑ かい  
は さ み を つ か う。

㉒ へい  
気 な 顔。

㉓ きよく  
テ レ ビ

㉔ よこ  
を む く。

㉕ と び ら が ひ ら く。

㉖ ふ か い 川。

㉗ つぎ  
の ページ。

㉘ き せ い  
へ や の 理。

㉙ ゆ び  
く す り

㉚ ぞく  
親 が 多 い。

㉛ い  
外 に 思 う。

㉜ む か し  
の 生 活。

㉝ せい  
さ い ふ を お と す。

㉞ て っ  
ぼ う

㉟ み  
の なる 木。

㊱ き しょう  
が ある。

㊲ ち  
気 も ち を あ ら わ す。

㊳ あ ん  
心 す る

㊴ し  
高 い 場

㊵ かん  
字 を 書 く。

㊶ は っ  
車 す る

㊷ き  
母 の も の。

㊸ て い  
の リ ズ ム。

㊹ め ん  
バ ス の 正

㊺ 足 あ と を し ら べ る。

㊻ けん  
立 公 園

㊼ ふ く  
セ ー ラ ー

㊽ よ う  
子 を 見 る。

㊾ お わ っ た ら、答 え を 見 直 し ま し ょ う。

各2点[100]

言葉で...こまを楽しむ 田47~59

公園であそぶ。

# 答えたしかめシート

このマークを読み取ると、  
動画を見ることができます。



3年

光文書院

3年 光

めあて 四・五月にならったかん字が書ける。

## 四五月のかん字のまとめ

出題範囲・よく聞いて、じこしようかい・ぜん体と中心

10~59

なまえ

組番

知・技かん字

光文書院

各2点(100)

言葉で...こまをまわす 1047~59

知識・技能 かん字  
かん字を書きましよう。——の言葉は、かん字とおくりがなで書きましよう。

1 詩  
を讀む。

2 自習  
の時間。

3 商店  
がい

4 自動  
ドア

5 なぞの生  
物

6 開く  
とびらがひらく。

7 親族  
が多い。

8 実  
のなる木。

9 高い場  
所

10 バスの正  
面

11 登校  
する

12 よい出来  
事

13 図書  
館

14 電話番  
号

15 使う  
はさみをつかう。

16 深い  
ふかい川。

17 意  
外に思う。

18 味  
がある。

19 漢  
字を書く。

20 調べる  
足あとをしらべる。

21 自由  
な時間。

22 温かい  
あたたかいスープ。

23 あま酒  
をのむ。

24 文章  
を書く。

25 平  
気な顔。

26 次  
のページ。

27 昔  
の生活。

28 表す  
気もちをあらわす。

29 発  
車する

30 県  
立公園

31 氷  
がとける。

32 一分一  
秒

33 農  
家のしごと。

34 野球  
チーム

35 テレビ  
局

36 決める  
行き先をきめる。

37 へやの  
整理

38 落とす  
さいふをおとす。

39 母の  
着もの。

40 セーラー  
服

41 遊ぶ  
公園であそぶ。

42 全  
体を見る。

43 短い  
みじかいきより。

44 世界  
をめぐる。

45 横  
をむく。

46 くすり  
指

47 鉄  
ぼう

48 安  
心する

49 一  
のリズム。

50 様  
子を見る。

おわったら、答えを見直しましよう。